平成24年６月28日

各　　位

会 社 名　　JALCOホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　田辺　順一
（ＪＡＳＤＡＱ・コード6625）
問合せ先
役　職・氏　名　　管理本部長　大浦　隆文
電　話　　050－5536－9824

（訂正／数値データ訂正あり）「平成24年３月期　決算短信[日本基準](連結)」の一部訂正について

平成24年５月18日に発表致しました「平成24年３月期 決算短信[日本基準](連結)」の一部に訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおり訂正致します。

なお、訂正箇所は、下線＿＿を付しております。

記

１．訂正箇所

１ページ

＜訂正前＞

１．24年３月期の連結業績（平成23年４月1日～平成24年３月31日）

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年３月期	△720	5	630	295
23年３月期	－	－	－	－

＜訂正後＞

１．24年３月期の連結業績（平成23年４月1日～平成24年３月31日）

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年３月期	△626	△0	630	295
23年３月期	－	－	－	－

３ページ

＜訂正前＞

１．経営成績

（２）財政状態に関する分析

【省略】

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末と比較して３百万円減少し、２億95百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況およびこれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、７億20百万円の減少となりました。これは主に保留となっていた役員退職慰労金を支払ったこと、固定費見直しに伴う大幅な人員削減を実施して退職金を支払ったこと、及び大幅な損失を計上したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、5百万円の増加となりました。これは主に固定資産及び子会社株式の取得を行ったことに対して、福島工場における製造業務を他社に業務委託をする際に機械設備を売却したことと、契約変更による差入保証金の返戻及び貸付金が返済されたことによります。

＜訂正後＞

１．経営成績

（２）財政状態に関する分析

【省略】

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末と比較して３百万円減少し、２億95百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況およびこれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、６億26百万円の減少となりました。これは主に保留となっていた役員退職慰労金を支払ったこと、固定費見直しに伴う大幅な人員削減を実施して退職金を支払ったこと、及び大幅な損失を計上したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、0百万円の減少となりました。これは主に福島工場における製造業務を他社に業務委託をする際に機械設備を売却したこと、契約変更による差入保証金の返戻及び貸付金が返済されたことに対して、固定資産の取得を行ったことによります。

17ページ

４．連結財務諸表

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

〈訂正前〉　（単位：千円）

	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純損失（△）	△ 684,333
【省略】	
その他	△ 47,727
小計	△ 606,107
【省略】	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 720,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 31,220
【省略】	
差入保証金の回収による収入	26,740
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出（△）	△ 4,993
【省略】	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,590
【省略】	
現金及び現金同等物に係る換算差額	87,032
【省略】	

〈訂正後〉　（単位：千円）

	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純損失（△）	△ 684,333
【省略】	
関係会社清算損	98,241
本社移転関連費用	13,397
事務所移転費用	3,260
災害による損失	3,020
【省略】	
その他	△ 65,286
小計	△ 505,747
【省略】	
災害損失による支払	△ 3,020
事務所移転費用の支払額	△ 3,260
【省略】	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 626,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 36,744
【省略】	
差入保証金の回収による収入	21,343
【省略】	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 337
【省略】	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,119
【省略】	

22 ページ

＜訂正前＞

（9）連結財務諸表に関する注記事項

（連結貸借対照表関係）

当連結会計年度 （平成24年３月31日）			
【省略】			
※２．担保に供している資産ならびに担保付債務は次のとおりであります。			
担保資産			（内工場財団）
土地	193,054	千円	（131,902 千円）
建物	60,480	千円	
機械装置	16,410	千円	
売掛金	38,082	千円	
株式	138,715	千円	
合計	446,743	千円	（131,902 千円）
【省略】			

＜訂正後＞

（9）連結財務諸表に関する注記事項

（連結貸借対照表関係）

当連結会計年度 （平成24年３月31日）			
【省略】			
※２．担保に供している資産ならびに担保付債務は次のとおりであります。			
担保資産			（内工場財団）
建物	60,480	千円	
機械装置	41,546	千円	
土地	193,054	千円	（131,902 千円）
合計	295,080	千円	（131,902 千円）
【省略】			

＜訂正前＞

（連結損益計算書関係）

当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
※１．販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 荷造運搬費　82,296 千円 給料手当　149,742 千円 支払手数料　94,348 千円 研究開発費　49,190 千円 ※２．研究開発費の総額 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 49,190 千円 【省略】

＜訂正後＞

（連結損益計算書関係）

当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
※１．販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 荷造運搬費　82,296 千円 給料手当　163,246 千円 支払手数料　94,015 千円 研究開発費　29,258 千円 ※２．研究開発費の総額 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 29,258 千円 【省略】

24 ページ

＜訂正前＞

（セグメント情報等）

ａ．セグメント情報

当連結会計年度（自平成23年４月１日　至平成24年３月31日）

当社は平成23年３月１日設立のため、前連結会計年度に係る記載はしておりません。

【省略】

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債、その他の項目の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１、２	連結（注）３
	日本	東南アジア	東アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,188,679	51,052	650,546	1,890,277	－	1,890,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	186,099	321,645	596,817	1,104,572	△1,104,572	－
計	1,374,779	372,707	1,247,363	2,994,850	△1,104,572	1,890,277
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△534,501	△53,124	21,520	△566,106	31,466	△534,639
セグメント資産	1,295,105,452	272,760	435,839	2,003,705	△695,433	1,308,271
その他の項目						
減価償却費	61,928	56,707	12,117	130,753	－	130,753
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	11,398	2,025	5,089	18,514	－	18,514

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額31,466千円はセグメント間取引消去であります。

２．セグメント資産の調整額695,433千円のうち主なものは、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

＜訂正後＞

（セグメント情報等）

ａ．セグメント情報

当連結会計年度（自平成23年４月１日　至平成24年３月31日）

当社は平成23年10月３日設立のため、前連結会計年度に係る記載はしておりません。

【省略】

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債、その他の項目の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１、２	連結（注）３
	日本	東南アジア	東アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,188,679	51,052	650,546	1,890,277	－	1,890,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	186,099	321,654	596,817	1,104,572	△1,104,572	－
計	1,374,779	372,707	1,247,363	2,994,850	△1,104,572	1,890,277
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△534,501	△53,124	21,520	△566,106	31,466	△534,639
セグメント資産	1,295,105	272,760	435,839	2,003,705	△695,433	1,308,271
その他の項目						
減価償却費	61,928	56,707	12,117	130,753	－	130,753
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	11,398	20,255	5,089	36,744	－	36,744

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額31,466千円はセグメント間取引消去であります。

２．セグメント資産の調整額△695,433千円のうち主なものは、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

25ページ

＜訂正前＞

（１株当たり情報）

【省略】

当社は、平成23年９月１日付で普通株式５株を１株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、前会計年度連結累計期間及び当会計年度連結累計期間の１株当たり当期純利益を算定しております。

＜訂正後＞

（１株当たり情報）

【省略】

当社は、平成23年９月１日付で普通株式５株を１株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、当連結会計年度の１株当たり当期純利益を算定しております。

以上